

市販薬とは？

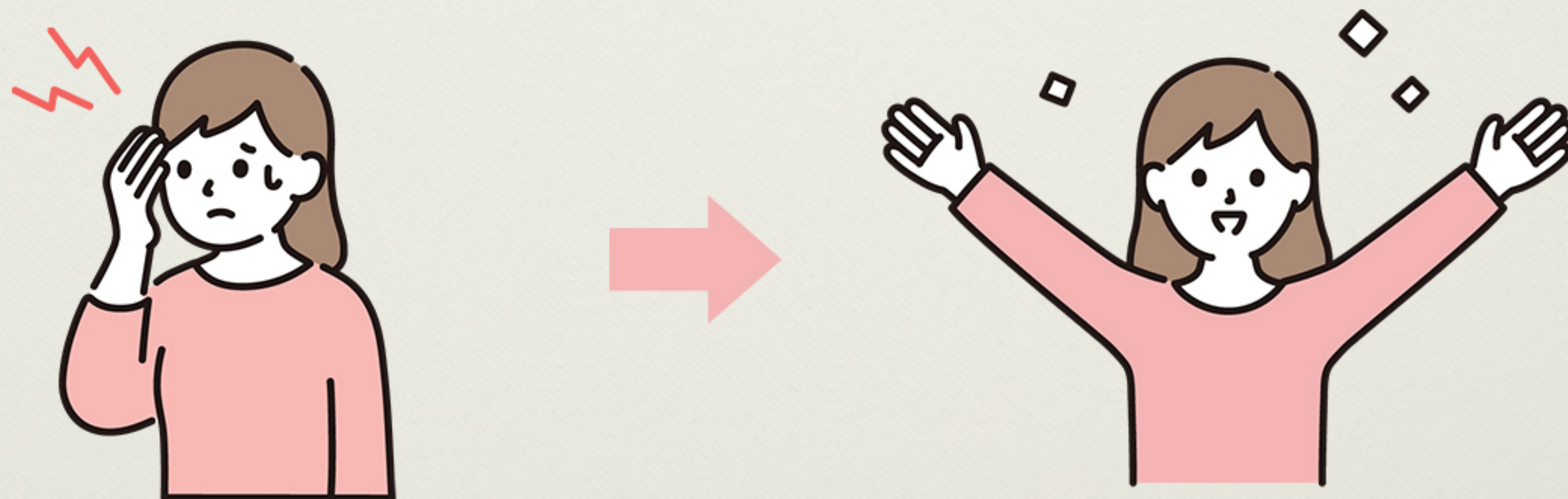
- 「大衆薬」「買い薬」とも呼ばれていた。
- 薬局・ドラッグストアなどで処方せんが無くても購入できるお薬のこと
- 最近では「OTC医薬品」と呼ばれることが多くなってきた。

OTC (Over The Counter: オーバー・ザ・カウンターの略)

市販薬(OTC医薬品)の役割は？

自分自身で健康管理を行い、軽い病気の症状緩和
(セルフメディケーション)などに活用できるもの！

EX：解熱鎮痛薬、点鼻薬、点眼薬、整腸薬、水虫薬など



医師が処方するお薬と何が違うのか？

- 医師、歯科医師の処方せんや指示により使われるお薬のことを「医療用医薬品」「処方薬」といいます。
- 診察した時点での皆様の病状に合わせて種類や量が決められたお薬。

医師が処方するお薬と何が違うのか？

市販薬（OTC医薬品）とは？

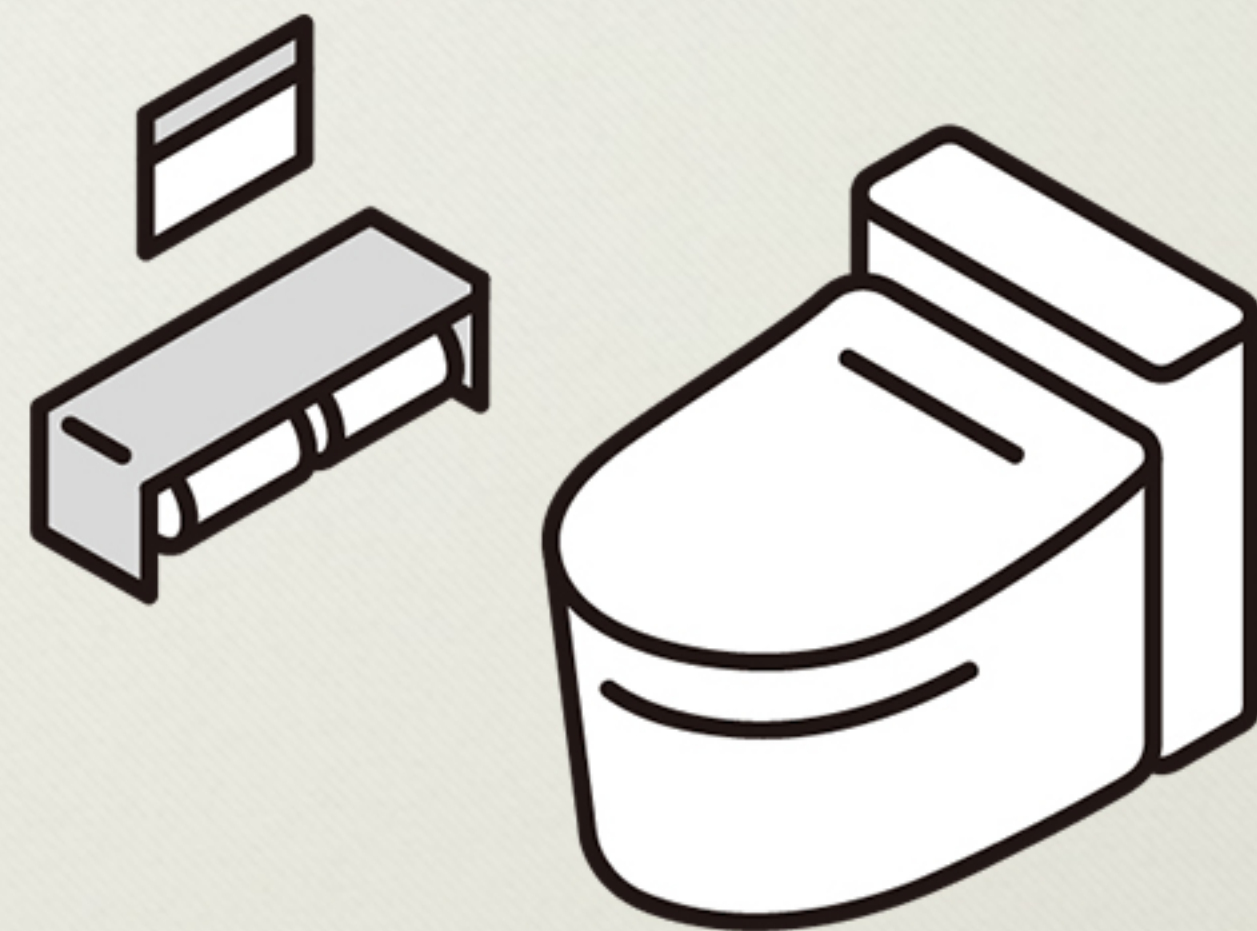
- 一般用医薬品・要指導医薬品に分けられる。
- 一般の方が薬剤師・登録販売者からのアドバイスをもとに
薬局やドラッグストアなどで購入し自分の判断で使用するお薬
※登録販売者は要指導医薬品、一般用医薬品の一部(1類)については販売できません。
- 比較的安全とされ、誰にでも使いやすいように
工夫されたものなどがある。



例1 風邪薬(総合感冒薬)を購入する場合

- ☑ **抗ヒスタミン薬**(抗コリン作用)が含まれていることがある
- ☑ **前立腺肥大**で**排尿障害**がある方
などは**状態が悪化する可能性**がある
- ☑ 特に**高齢者**の方は注意が必要

→症状に合わせた個別のお薬を選ぶ



例2 腰痛があるためロキソプロフェン含有の 痛み止めを購入する場合

☑ 胃が弱い方

- 胃痛、胃の不快感などを引き起こす可能性
- 胃に負担がかからない成分のものを推奨
- 胃薬と一緒に飲む・湿布薬の推奨など

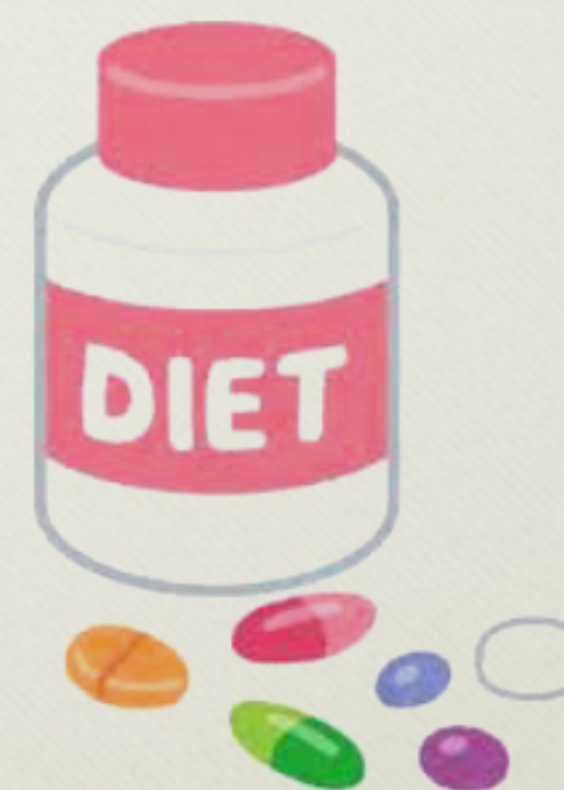
☑ 妊娠後期の方

- 新生児肺高血圧症を引き起こす可能性
- アセトアミノフェン単独製剤を推奨など



インターネットを利用した購入の注意点

- インターネット販売でも**薬剤師・登録販売者**によって適切な情報提供・販売がされるように**ルールが決められています。**
- **海外サイトでの薬の購入は危険！！**
- **厚生労働省「一般用医薬品の販売サイト一覧」**を参考にするのも有効。



市販薬（OTC医薬品）を

選ぶにあたって考えないといけないこと

- ①使用禁忌・使用に関して注意しなければいけない人
- ②アレルギー歴
- ③副作用歴
- ④注意すべき職業内容・作業・行為
- ⑤妊娠・授乳
- ⑥乳幼児・小児・高齢者
- ⑦医療機関に受診中の疾患
- ⑧併用薬

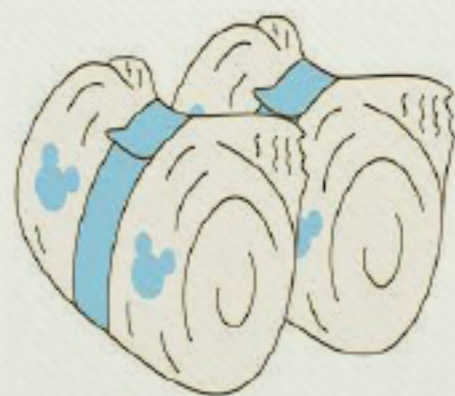


など

どうすれば良い？

薬局薬剤師を頼って下さい！

- かかりつけ薬剤師が市販薬（OTC医薬品）
を選ぶお手伝いをします。
- 薬局は処方せんがなくても利用できます！



どうすれば良い？

お薬手帳を活用して下さい！

市販薬(OTC医薬品)を購入する際も
お薬手帳を薬剤師に見せて下さい。

→お薬の飲み合わせをチェックすることができます。

